BM9-020001～BM9-024999、BR9-056001～BR9-076999、BRF-007001～BRF-007999

2011年4月以降

ドアポケットに入れてお使いください

TOURING WAGON / B4 / OUTBACK

クイックユーザーガイド

このクイックユーザーガイドは、運転者ならびに同乗者の方に
LEGACY を楽しく安全にお使いいただくためのガイドです。
初めて LEGACY に触れられるときにぜひご一読ください。

※写真はイメージです

クイック ユーザーガイドは取扱説明書の抜粋版です。必ず取扱説明書をご一読ください。

運転席まわり

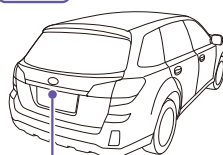
このクイックユーザーガイドは
基本的な操作説明を中心とした取扱説明書の抜粋版のため
取り扱い時の注意点や詳細な説明は省略しております。
必ず取扱説明書をご一読ください。
ドアポケットなど取り出しやすいところに入れて
お使いください。

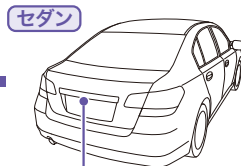
★一部グレードのみに装着されている機能・装備ついては ✿マークがついています。詳しくは取扱説明書をご覧ください。

A ドアの施錠・解錠

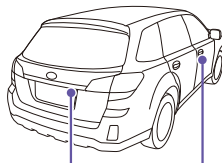
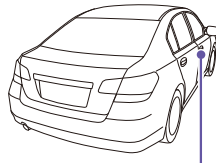
キーレスアクセスによるドアの施錠・解錠

すべてのドアの解錠

アクセスキーを携帯しドアハンドルをにぎると、キーを取り出すことなくすべてのドア（リヤゲート含む）の解錠ができます。
リヤゲートオープナースイッチ（ワゴン）を押すとリヤゲートからも解錠できます。

トランクの解錠（セダン）

アクセスキーを携帯しトランクオープナースイッチを押すとトランクが解錠します。

車内から開けるときはインストルメントパネル右下のスイッチを１秒以上押します。

ドアおよびリヤゲートの施錠

アクセスキーを携帯し、すべてのドア（リヤゲート含む）を閉めてから、次のスイッチを押すことで、すべてのドアの施錠ができます。

電波式リモコンドアロックによるドアの施錠・解錠

アクセスキーまたはリモコンキーのボタンを押すと、電波により車から離れたところから、すべてのドアおよびリヤゲートの施錠・解錠とトランクの解錠ができます。

アクセスキー

- すべてのドアおよびリヤゲートの施錠
- すべてのドアおよびリヤゲートの解錠
- セダン：約1.5秒以上長押しでトランクの解錠
  ワゴン：リヤゲートの解錠

リモコンキー（ワゴン）　**リモコンキー（セダン）**

A ドアの施錠・解錠

盗難警報装置

キーレスエントリー（キーレスアクセス機能、電波式リモコンドアロックまたは暗証コード式キーレスエントリー）以外でドア（リヤゲート含む）またはトランクが開けられたとき、警報が作動し周囲に異常を知らせます。警報が作動したときは、右記のいずれかの操作で解除できます。 ※初期設定では作動無しになっています。

イモビライザー（盗難防止用エンジン始動ロックシステム）

車両の盗難防止のため、登録されたキー以外ではエンジンの始動ができません。

警報を作動させてしまったときの解除方法

〈キーレスアクセス&プッシュスタート装着車〉

・アクセスキーのいずれかのボタンを押す。
・アクセスキーを携帯し、リクエストスイッチを押す。
・アクセスキーを携帯し、エンジンスイッチを「Acc」にする。

〈キーレスアクセス&プッシュスタート装着車以外〉

・リモコンキーのいずれかのボタンを押す。
・エンジンスイッチを「ON」にする。

※キーの登録、システムの点検などの際には、セキュリティIDが必要となります。
セキュリティIDプレートは、車内以外の場所に大切に保管してください。
※キーナンバープレートはキーをつくるときに必要ですので、車内以外の場所に大切に保管してください。

キーナンバープレート

セキュリティIDプレート

B パワーウインドゥ

集中ドアロックスイッチ

すべてのドアの施錠・解錠ができます。ワゴンはリヤゲートも同時に施錠・解錠されます。

ロックスイッチ

ロックスイッチを押すと助手席と後席のウインドゥは開閉できなくなります。

運転席ウインドゥスイッチ

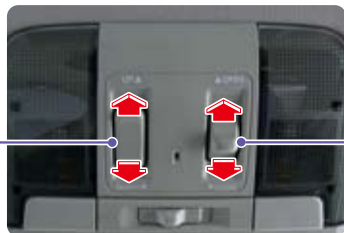
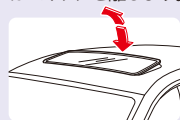
開けるときは押し、閉めるときは引き上げます。
強く操作すると自動で作動します。

助手席、後席ウインドゥスイッチ

開けるときは押し、閉めるときは引き上げます。

C 電動ガラスサンルーフ

チルトスイッチ

UP を押すとガラスルーフ後端が上昇（チルトアップ）します。DOWN を押すと下降（チルトダウン）します。任意の位置で止めたいときはスイッチを離します。

スライドスイッチ

OPEN 側に押すとガラスルーフが開きます。途中で止めるときはスイッチを再度前後どちらかに動かしてください。

※ワゴン車は全開手前位置で一旦停止します。再度スイッチを押すと全開まで開きます。

BM9-020001～BM9-024999、BR9-056001～BR9-076999、BRF-007001～BRF-007999

D シートの調整

フロントシート（マニュアルシート）
シートのドア側と下部のレバー操作で調整ができます。

前後位置の調整

レバーを完全に引き上げた状態でシートを前後に動かします。

リクライニング調整

レバーを完全に引き上げた状態で背当て角度を調整します。

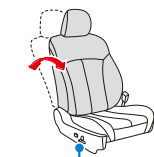
上下調整（運転席のみ）

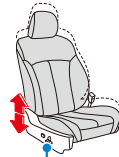
レバーを引くたびに上がり、押すたびに下がります。

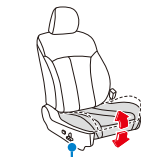
フロントシート（パワーシート）
シートのドア側のスイッチ操作で調整ができます。

前後位置の調整

スイッチ全体を前後に動かして調整します。

リクライニング調整

リクライニングスイッチを前後に動かして背当て角度を調整します。

上下調整

スイッチの後側を上下に動かしてシートの高さを調整します。

座面前側の高さ調整

スイッチの前側を上下に動かしてシート前側の高さを調整します。

ランバーサポート

スイッチ前側を押すと背当ての一部が盛り上がり、後側を押すと沈み込みます。

メモリーシート
お好みのシート位置を登録することができます。

運転席ドア内側のボタンに登録

①お好みのシート位置で「SET」を押しながら「1」か「2」を長押しします。
②ブザーが鳴り、登録完了です。
③シート位置を呼び出すには、エンジンを ON にして「1」または「2」のボタンを押します。

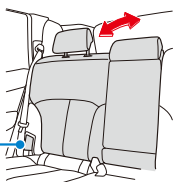
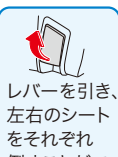
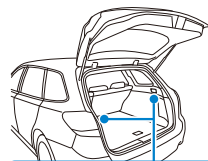
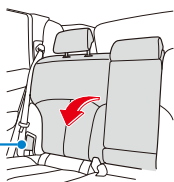
アクセスキーに登録

アクセスキーごとに登録できます。

①お好みのシート位置で「SET」を押しながらアクセスキーの解錠ボタンを押します。
②ブザーが鳴り、登録完了です。
③シート位置を呼び出すには、アクセスキーの解錠ボタンを押すかドアハンドルをにぎって解錠後、運転席ドアを開けます。

リヤシート（ワゴン）

リクライニング調整

レバーを引くと背当て角度の調整ができます。

背当てを倒し、荷室を広げる

レバーを引き、左右のシートをそれぞれ倒すことができます。

荷室のレバーを引くと背当てが前に倒れます。

★一部グレードのみに装着されている機能・装備ついては マークがついています。詳しくは取扱説明書をご覧ください。

E シートヒーター

エンジンスイッチが「Acc」または「ON」のときスイッチを押すとシートが暖まります。作動中はスイッチ内のランプが点灯します。

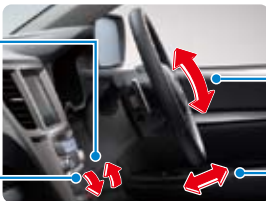
HIGH：早く暖めたいときに使います。暖まったら LOW にしてください。

LOW：保温するときに使います。通常はこの位置で使用してください。

停止させるときは、スイッチを水平にします。

F チルト／テレスコピックステアリング

運転姿勢に合わせてハンドル位置を前後または上下に調整できます。

1. チルト／テレスコピックレバーを押し下げます。
2. ハンドル位置を合わせます。
3. レバーを引き上げます。
4. ハンドルが固定されたことを確かめてください。

G ミラーの調整

エンジンスイッチが「Acc」または「ON」のとき、ドアミラーの調整と格納ができます。

電動格納式ドアミラー

スイッチ を押し込むと左右のミラーが同時に格納されます。再度押すと元に戻ります。

電動リモコンドアミラー

スイッチを「L」または「R」に回し調整するミラーを選びます。スイッチを上下左右に動かして、後方を充分に確認できる位置に調整します。

H マニュアルヘッドランプレベラー

乗車人数、荷物の積載状態に応じて、ヘッドランプの照らす高さを調節します（数字が大きいほど下向き。通常はダイヤル0の位置で使用）。

I イルミネーションコントロールダイヤル

メーターなどの明るさを6段階に調整できます。上方向に回すと明るくなります。

〈ブライト（減光キャンセル）機能〉
ダイヤルを一番明るい段階から、さらに上方向（●印部分）に回すと、ライトを点灯しても表示部の明るさが減光しません。

BM9-020001～BM9-024999、BR9-056001～BR9-076999、BRF-007001～BRF-007999

※CVT車とは、SUBARUの新開発CVT、Lineartronic搭載車を示します。

J プッシュスタートシステム

電源の切り替え

作動表示灯

オートマチック車およびCVT車はブレーキペダル、マニュアル車はクラッチペダルを踏まずにプッシュエンジンスイッチを押すと、電源が **OFF→Acc→ON→OFF** の順に切り替わります。

作動表示灯の状態

表示灯	状態	意味
	緑色に点灯	エンジン始動が可能な状態
	橙色に点灯	「ON」または「Acc」
	消灯	「OFF」もしくはエンジン回転中
	緑色に点滅	ステアリングロックが解除されていません。 ※解除方法はP15のQ&Aをご覧ください。
	橙色に点滅	システムの故障が考えられます。 直ちにスバル販売店にご連絡ください。

エンジンの始動

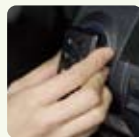
オートマチック車／CVT車

①アクセスキーを携帯し運転席に座ります。
②電動パーキングブレーキスイッチを押し、電動パーキングブレーキが確実にかかっていることを確認します。
③セレクトレバーが P であることを確認します（N でも始動できますが、安全のため P で始動してください）。
④プッシュエンジンスイッチの作動表示灯が緑色になるまで、ブレーキペダルを踏み込みます（N で始動する場合、作動表示灯は緑色になりません）。
⑤ブレーキペダルを確実に踏んだまま、プッシュエンジンスイッチを押します。

マニュアル車

①アクセスキーを携帯し運転席に座ります。
②電動パーキングブレーキスイッチを押し、電動パーキングブレーキが確実にかかっていることを確認します。
③チェンジレバーがニュートラルであることを確認します。
④ブレーキペダルを踏みます。
⑤プッシュエンジンスイッチの作動表示灯が緑色になるまで、クラッチペダルを確実に踏み込みます。
⑥クラッチペダルを確実に踏んだまま、プッシュエンジンスイッチを押します。

※強い電波ノイズや、アクセスキーの電池残量不足でアクセスキーが正常に作動しないときのエンジン始動

①セレクトレバーが P 位置（AT車/CVT車）またはチェンジレバーがニュートラル（MT車）であることを確認し、ブレーキペダル（AT車/CVT車）またはブレーキペダルとクラッチペダル（MT車）を踏みます。
②アクセスキーのボタン側を手前に向けて、アクセスキーをプッシュエンジンスイッチに触れるまで近づけます。ブザー音（ポーン）が鳴り、作動表示灯が緑色に点灯します。
③作動表示灯が緑色に点灯してから5秒以内に、ブレーキペダル（AT車/CVT車）またはブレーキペダルとクラッチペダル（MT車）を踏みながらプッシュエンジンスイッチを押してください。

エンジンの停止

車両を完全に停止させ、プッシュエンジンスイッチを押してください。エンジンが停止し、電源が「OFF」になります。
ただし、オートマチック車およびCVT車はセレクトレバーを P に入れてからエンジンスイッチを押さないと電源が「OFF」になりません。

※セレクトレバーが P 位置以外でもエンジンを停止することができますが、電源は「Acc」になります。
車両から離れるときは P 位置でエンジンを停止し、電源が「OFF」になっていることを確認してください。
※走行中3秒以上プッシュエンジンスイッチを押し続けるとエンジンが停止します。緊急時以外は本操作しないでください。

プッシュスタート装備車以外でエンジンスイッチからキーを抜くときは、PUSHの位置でキーを押し込んでから LOCK 位置に回してください。

PUSHでキーを押し込み、
LOCKに回します

K フロントワイパー／リヤワイパー ✿／ヘッドランプウォッシャー ✿

フロントワイパー

レバーを押し下げる、または押し上げるとワイパーが作動します。エンジンスイッチが「ON」のときに使用できます。

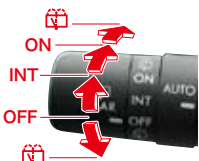
オートワイパー装着車

MIST	手動で作動
OFF	停止
AUTO	雨滴量により自動作動 リングを回して感度を調整します。 −方向：低感度／+方向：高感度 ※カスタマイズによりAUTOを間欠作動に設定変更することができます。詳細は取扱説明書を参照のうえ、スバル販売店にご相談ください。
LO	低速連続作動
HI	高速連続作動

オートワイパー装着車以外

MIST	手動で作動
OFF	停止
INT	間欠作動 リングを回して作動間隔を調整します
LO	低速連続作動
HI	高速連続作動

リヤワイパー ✿

スイッチを回すと作動します。

(上側)	ウォッシャー液が噴射しワイパーが作動
ON	連続で作動
INT	間欠作動（車速に応じて変わります）
OFF	停止
(下側)	ウォッシャー液が噴射しワイパーが作動

ヘッドランプウォッシャー ✿

ライティングスイッチが ≣D のとき、1秒以上手前に引くと作動します。

L ライティングスイッチ／フォグランプスイッチ ✿

ライティングスイッチ

レバー内のスイッチを回すと次のようにランプが点灯します。

AUTO ✿	センサー感知により自動点灯
≣D	車幅灯、尾灯、番号灯、ヘッドランプが点灯
⁝D0⁝	車幅灯、尾灯、番号灯が点灯
OFF	消灯

※キーを抜く、またはプッシュエンジンスイッチで電源OFFにするとランプは消灯しますが、スイッチを一旦OFFにして再度ONするとランプを点灯させることができます。

ヘッドランプの上下を切り替える

レバーを前に押すと上向き、元に戻すと下向きになります。

パッシング（合図）のしかた

レバーを手前に引いている間ヘッドランプは上向きになります。

※車から離れるときは、バッテリー上がりをふせぐため、必ずライティングスイッチを「OFF」にしてください。

フォグランプスイッチ ✿

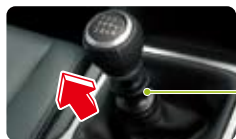
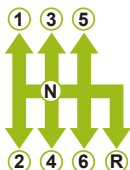
ライティングスイッチが ⁝D0⁝、≣D または **AUTO** でライト点灯時にスイッチを下記マークまで回すとフォグランプが点灯します。

0‡ ✿	リヤフォグランプが点灯
‡D ✿	フロントフォグランプが点灯
OFF	消灯

BM9-020001～BM9-024999、BR9-056001～BR9-076999、BRF-007001～BRF-007999

※CVT車とは、SUBARUの新開発CVT、Lineartronic搭載車を示します。

M チェンジレバー（マニュアル車）／セレクトレバー（オートマチック車／CVT車）

チェンジレバー（マニュアル車）

プルリング

変速するときは、クラッチペダルをいっぱいに踏み込んで確実に操作してください。
Rに入れるときはプルリングを引き上げたままレバーを操作します。

セレクトレバー（オートマチック車／CVT車）

P P
R R
N N
D M
D ― M

- P：**パーキング**（駐車およびエンジン始動位置）
- R：**リバース**（後退位置）
- N：**ニュートラル**（中立位置）
- D：**ドライブ**（通常走行位置）
- M：**マニュアル**（マニュアルモード走行位置）

マニュアルモード ※詳細は取扱説明書3章をご覧ください。

セレクトレバーをDからM（マニュアルゲート）に動かすとマニュアルモードになります。パドルシフトで変速できます。

N パドルシフト（オートマチック車／CVT車）

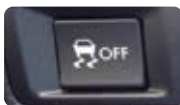
マニュアルモードで変速する時に使用します。

1段下のギヤに変速
左側（−）のレバーを手前にひきます。

1段上のギヤに変速
右側（+）のレバーを手前にひきます。

Dレンジでの操作

走行中、Dのままパドルシフトを操作すると一時的にマニュアルモードに切り替わります。しばらく走行した後、通常のD走行に復帰します。

O VDC OFFスイッチ

VDC（ビークルダイナミクスコントロール）システムを一時的に「OFF」にしたい場合に押します。作動可能状態に復帰させるときには、もう一度 VDC OFF スイッチを押します。
※通常は「ON」でご使用ください。「OFF」にする場合については取扱説明書をご覧ください。

P SI-DRIVE (SUBARU Intelligent Drive)

SI-DRIVE※ は、3つの特性をもった走行モードを選べるシステムです。
各モードの詳細は取扱説明書3章をご覧ください。 ※SI-DRIVE は、SUBARU Intelligent Drive に由来します。

S（スポーツモード）
SI-DRIVE セレクターを左に回します。

S#（スポーツシャープモード）
SI-DRIVE セレクターを右に回します。

I（インテリジェントモード）
SI-DRIVE セレクターを押します。

SI-DRIVEセレクター

Q 電動パーキングブレーキ

電動パーキングブレーキは、電気モーターでパーキングブレーキをかけるシステムです。
エンジンスイッチの位置に関係なくかけることができます。エンジンスイッチが ON のときに解除できます。

表示灯

PUSH ON / PULL OFF

電動パーキングブレーキスイッチ

ヒルホールドスイッチ

電動パーキングブレーキをかける

①ブレーキペダルを踏みます。
②電動パーキングブレーキスイッチを押します。スイッチの表示灯が点灯します。

電動パーキングブレーキを解除する

①ブレーキペダルを（マニュアル車は同時にクラッチペダルも）踏みます。
②電動パーキングブレーキスイッチを手前に引きます。スイッチの表示灯が消灯します。

アクセル自動解除機能

全てのドアが閉まり運転席シートベルトを装着した状態でアクセルを踏み込むと、自動的に電動パーキングブレーキが解除されます。

ヒルホールド機能

ヒルホールドスイッチを押して、ヒルホールド機能を ON にすると、登り坂でブレーキを踏んで停車した場合、停車の約1秒後に自動的に電動パーキングブレーキが作動します。

R クルーズコントロール

※EyeSight ver.2 についての詳細は別冊の「レガシィ EyeSight ver.2 取扱説明書」をお読みください。

アクセルペダルを踏まなくても車速を一定に保つことができる機能です。CRUISE スイッチを押すとクルーズコントロールが作動可能になります。作動停止するときはスイッチをもう一度押します。

CRUISE スイッチ

RES/SETスイッチ RES/+ 側

RES/SETスイッチ SET/– 側

CANCEL スイッチ

●速度をセットするとき

希望する車速のときに RES/SET スイッチを SET/- 側に押します。

●一時解除

ブレーキペダルを踏む、または CANCEL スイッチを押します。

●一時解除の復帰

RES/SET スイッチを RES/+ 側に押します。

●セット速度の調整

増速するには RES/SET スイッチを RES/+ 側に、減速するには SET/- 側に希望速度まで押し続けます。

S インフォメーションメーター／時計

時計

「＋」「–」ボタンで時刻表示を合わせます。

瞬間燃費計／平均燃費計／残走行距離計

エンジンスイッチが「ON」のとき、メーター左（P13 参照）のインフォメーション表示切り替えノブを押すごとに表示が切り替わります。

瞬間燃費計 ➡ **表示なし** ➡ **残走行距離計** ➡ **平均燃費計（トリップ A または B）** ➡（瞬間燃費計に戻る）

外気温度計

外気温度を表示します。外気温度が3℃以下になった場合、路面凍結の恐れがあることを知らせるため温度表示が点滅します。

T エアコンの操作

フルオートエアコン（シングルタイプ）

フルオートで使うには AUTO スイッチを押して温度調整スイッチで希望温度を設定します。
表示部に“FULL AUTO”と表示されます。

モード（吹き出し口）切り替えスイッチ
吹き出し口を切り替えます。

風量調整（ファン）スイッチ
風量を調整します。

表示部

温度調整スイッチ
設定温度を上げるときは▲、下げるときは▼を押します。

A/C スイッチ
冷房・除湿機能の ON/OFF を切り替えます。

デフロスタースイッチ
フロントガラス、サイドガラスの曇りや霜を取ります。

リヤウインドゥデフォッガースイッチ
リヤウインドゥの曇りを取ります。フロントワイパーデアイサーおよびヒーテッドドアミラー装着車は同時に作動します。

内外気切り替えスイッチ
内気循環と外気導入を切り替えます。内気循環のとき表示灯が点灯します。
※通常は外気導入をお使いください。

AUTO スイッチ
フルオートで使うときに押します。

OFFスイッチ
エアコンを OFFします。

フルオートエアコン（左右独立タイプ）

フルオートで使うには AUTO スイッチを押して温度調整スイッチで希望温度を設定します。
表示部に“FULL AUTO”と表示されます。

温度調整スイッチ
設定温度を上げるときは▲、下げるときは▼を押します。DUAL 時に助手席側の温度を設定します。連動時に押すと DUAL になります。

風量調整（ファン）スイッチ
風量を調整します。

DUAL スイッチ
運転席側と助手席側の温度を別々に設定できます。左右独立温度調整（DUAL）時に表示灯が点灯します。

モード（吹き出し口）切り替えスイッチ
吹き出し口を切り替えます。

表示部

温度調整スイッチ
操作方法は左側と同じ。DUAL 時に運転席側、連動時に両側の温度を設定します。

A/C スイッチ
冷房・除湿機能の ON/OFF を切り替えます。

デフロスタースイッチ
フロントガラス、サイドガラスの曇りや霜を取ります。

リヤウインドゥデフォッガースイッチ
リヤウインドゥの曇りを取ります。フロントワイパーデアイサーおよびヒーテッドドアミラー装着車は同時に作動します。

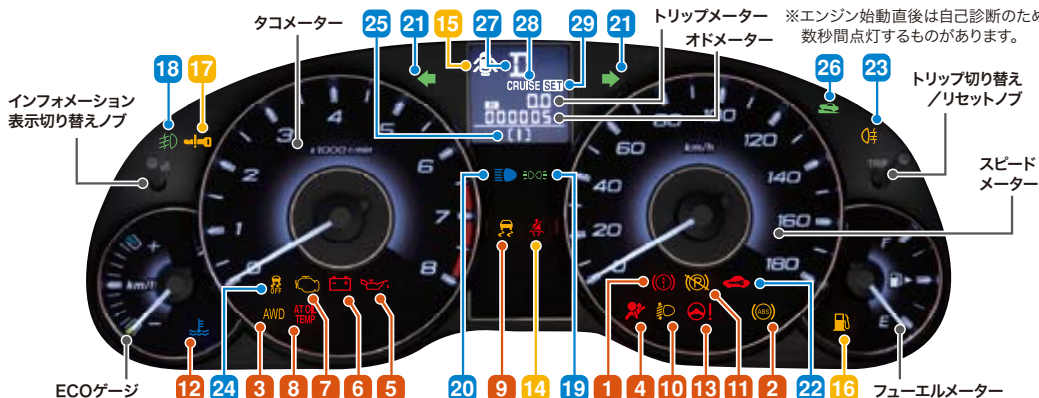
内外気切り替えスイッチ
内気循環と外気導入を切り替えます。内気循環のとき表示灯が点灯します。
※通常は外気導入をお使いください。

AUTO スイッチ
フルオートで使うときに押します。

OFFスイッチ
エアコンを OFFします。

5 メーター・表示灯・警告灯

BM9-020001～BM9-024999、BR9-056001～BR9-076999、BRF-007001～BRF-007999

★グレードにより装備されていない機能もありますが、レイアウト上全ての表示灯・警告灯を記載しています。詳しくは取扱説明書をご覧ください。
※ EyeSight ver.2のメーターについては別冊「レガシィEyeSight ver.2取扱説明書」をご覧ください。

1 ブレーキ警告灯	2 ABS警告灯	3 AWD警告灯(AT/CVT車)
駐車ブレーキがかかっているとき点灯。かけられない条件のときスイッチ操作すると10秒点滅。その他異常時は点灯／点滅。	アンチロックブレーキシステム(ABS)異常時に点灯。	異なる径や空気圧の著しく低下したタイヤで走行したとき点滅。

4 SRSエアバッグ警告灯	5 オイルプレッシャー警告灯	6 チャージ警告灯
エアバッグに異常があるとき点灯。	エンジンオイルの圧力に異常があるとき点灯。	充電系統に異常があるとき点灯。

7 エンジン警告灯	8 AT油温警告灯(AT/CVT車)	9 VDC警告灯／VDC作動表示灯
エンジン電子制御システム異常時点灯。触媒を損傷する可能性があるとき点滅。	ATまたはCVTのトランスミッションフルードの温度が高くなると点灯。異常時に点滅。	TCS/VDC作動時は点滅、VDC電子制御システム異常時に点灯。

10 オートヘッドランプレベラー警告灯	11 電動パーキングブレーキ警告灯	12 水温警告灯／水温表示灯
オートヘッドランプレベラー（自動光軸調整機構）のシステム異常時に点灯。	システムに異常があるとき点灯。	オーバーヒート手前で赤色点滅。オーバーヒートで赤色点灯。水温が低いとき青色点灯。

13 ステアリング制御警告灯	14 シートベルト警告灯	15 半ドア表示灯
パワーステアリングの電子制御システムに異常があるとき点灯。	運転席シートベルト未着用時点灯。そのまま22km/h以上で走行すると点滅&ブザー。	開いているドア(ドア、リヤゲート、トランク)を表示。

16 燃料残量警告灯	17 キー無し警告灯	18 フロントフォグランプ表示灯
燃料残量が約9リットル以下になると点灯。	車内にアクセスキーが無い場合に点滅。	フロントフォグランプが点灯しているとき点灯。

19 ライティングスイッチ表示灯	20 ハイビーム／パッシング表示灯	21 方向指示器表示灯
ライティングスイッチが車幅灯または前照灯位置のとき点灯。AUTOでは周囲が暗くなると点灯。	ヘッドランプが上向きのとき点灯。パッシング時も点灯。	方向指示器と同じように点滅。ヒューズや電球が切れたときは点滅速度が早くなる。

22 セキュリティ表示灯	23 リヤフォグランプ表示灯	24 VDCOFF表示灯
盗難防止機能がはたらいているとき点灯／点滅。詳しくは取扱説明書を参照。	リヤフォグランプが点灯しているとき点灯。	VDC OFF スイッチを押して VDC を作動停止にしたとき点灯。

25 SI-DRIVE表示灯 [S][I][S#]	26 ヒルホールド表示灯	27 シフトポジション表示灯 (MT)/(AT/CVT)
SI-DRIVE で選択されているモードを表示。	ヒルホールド機能を ON にしているとき点灯。	選択しているギヤ位置を表示。

28 クルーズコントロール表示灯 CRUISE	29 クルーズコントロール車速セット表示灯 SET
クルーズコントロールが ON のとき点灯。	クルーズコントロールで任意の車速をセットしたときに点灯。

1～13 異常時に点灯／点滅。取扱説明書を確認の上、お近くのスバル販売店へご相談ください。

14～17 取扱説明書記載の正しい対応方法に従ってください。

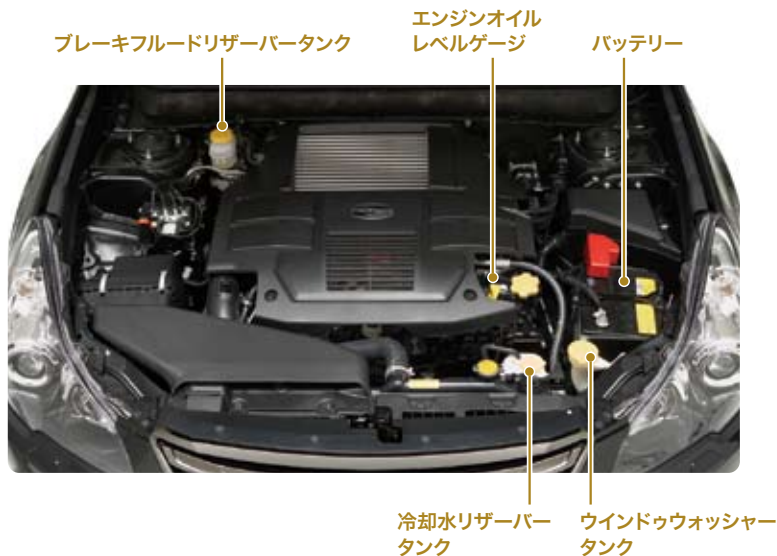
18～29 各装置の状態を示します。

日常点検

日常点検とは、日頃ドライバー自身の責任で行うように法律で義務づけられた点検です。
安全に走行するために大切な項目ばかりですので、日常点検を実施するように心掛けてください。

※詳しい点検方法についてはメンテナンスノート４章をご覧ください。

エンジンルーム内

下記の項目の内容量を点検してください。

車のまわり

●タイヤの空気圧を点検します。
き裂、損傷、異常摩耗がないか点検します。
溝の深さを点検します。

４輪とも必ず、指定サイズ、同一サイズ、同一メーカー、同一銘柄および同一トレッドパターン（溝模様）のタイヤを装着してください。
４輪とも同じタイヤを使用しないと、駆動システムを損傷したり、最悪の場合火災に至る可能性があります。

●各ランプ、方向指示器を作動させ、状態を点検します。レンズの汚れ、損傷も点検します。

運転席に座って

●エンジンのかかり具合、異音の有無を点検します。
●ブレーキペダルの踏みしろを点検します。
●ウインドゥウォッシャーの噴射状態を点検します。
●ワイパーの払拭状態の点検をします。

走行して

●ブレーキのきき具合を点検します。
●エンジンの低速および加速状態を点検します。
●運行において異常が認められた箇所を点検します。

困ったときのQ&A

Q アクセスキーまたはリモコンキーでドアが開かない

A 電波ノイズの影響が考えられます。車に近づいて再度操作してください。車の周囲約 1m 以内で何度か操作しても開かない場合は、アクセスキーまたはリモコンキーの電池の消耗あるいは故障が考えられます。スバル販売店にご相談ください。

Q アクセスキーまたはリモコンキーでドアを解錠しても自動で施錠してしまう

A アクセスキーまたはリモコンキーで解錠してから、ドア・リヤゲートを開けないまま 30 秒たつと自動で施錠します。

Q エンジンが始動できない（プッシュスタート装着車）

A プッシュエンジンスイッチを押して作動表示灯が緑色に点滅したときは、ハンドルがロックされている（ステアリングロック）ため、エンジンが始動できません。ハンドルを軽く左右に回しながら、ブレーキペダルを踏み、プッシュエンジンスイッチを再度押してください。

Q キースイッチが回らない（プッシュスタート装着車以外）

A
- ハンドルがロックされているとキースイッチが回しづらいことがあります。ハンドルロックを解除するために、ハンドルを軽く左右に回しながらキーを操作してください。
- オートマチック車／ CVT 車はセレクトレバーが Ⓟ 位置以外にあると、キーは「LOCK」位置に回せません。セレクトレバーをⓅ位置にしてから操作してください。「PUSH」位置でキーを押し込んでから「LOCK」位置に回します。

Q セレクトレバーが Ⓟ 位置から動かない

A エンジンが回転しているとき、ブレーキを踏みながらでないと操作できません。
バッテリー上がりやヒューズ切れなどでセレクトレバーをⓅから動かすことができないときは、シフトロック解除ボタンを押してシフトロックの解除をします。詳細は取扱説明書をご覧ください。

Q 事故が起きたとき

A あわてず次の処理をしてください。

①続発事故の防止につとめてください。
他の交通の妨げにならないような安全な場所に車を移動させ、エンジンを止めます。

②負傷者の救護につとめてください。
負傷者がいる場合は、医師、救急車が到着するまでの間、可能な応急手当をします。

③警察へ届け出をしてください。
事故が発生した場所、状況、負傷者の有無や負傷の程度などを連絡します。

④相手方の確認とメモをおとりください。
相手方の氏名、住所、電話番号などを確認してメモします。同時に事故状況もメモしておいてください。

⑤スバル販売会社と保険会社へ連絡してください。
ご購入されたスバル販売会社と加入の保険会社へ連絡します。

お問い合わせ、ご相談はお近くのスバル販売店、または下記の窓口へお願いいたします。

SUBARUお客様センター

SUBARUお客様センターでは下記の内容を承っております。

(1) ご意見／ご感想／ご案内（カタログ、販売店、転居お手続 他）
(2) お問い合わせ／ご相談

SUBARUコール 0120-052215

受付時間 【平日】9：00～17：00
【土日祝】9：00～12：00、13：00～17：00

※平日の12：00～13：00および土日祝は（1）のインフォメーションサービスのみとなります。

お問い合わせ先スバル販売店

富士重工業株式会社
スバルカスタマーセンターお客様相談部
〒160-8316 新宿区西新宿1-7-2（スバルビル）

●スバル最新情報をインターネットで。 **www.subaru.co.jp**

富士重工業株式会社
スバルカスタマーセンター
〒160-8316 東京都新宿区西新宿1-7-2 スバルビル

発行2011年4月 Printed in Japan NB

Publication No. F2480JJ-A